Panasonic®

取扱説明書

デジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホン

品番 RP-WF6000

このたびは、デジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（4～6ページ）はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

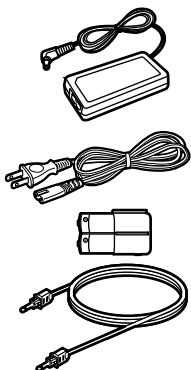
■ 付属品の確認

まず最初に付属品を確かめてください。

□ AC アダプター ································ 1 個
（RFX5726）

□ AC アダプター用電源コード ····················· 1 本
（K2CA2DA00009）

□ 専用単3形充電式ニッケル水素電池 ··············· 1 個
（RP-BP6000）

□ 光デジタル接続ケーブル（光角型⇔光角型） ······ 1 本
（RP-CA2020A）（約2 m）
買い替え品は形状が異なります。

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
（　）内は買い替え時の品番です。品番は 2006年8月現在のものです。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご確認ください。

Pana Sense http://www.sense.panasonic.co.jp/

充電式ニッケル水素電池の買い替えは

必ず専用の別売品
RP-BP6000をご使用ください。

保証書別添付　上手に使って上手に節電

RQT8810-S

主な特長

本機は2.4 GHz無線伝送方式（デジタル）を使用したデジタル ワイヤレス サラウンドヘッドホンです。
マルチチャンネルのサラウンド音場を、ヘッドホンで快適にお楽しみいただけます。

- ドルビーデジタル※、ドルビープロロジックⅡ※、DTS※対応
  （「ドルビーデジタルサラウンドEX」、「DTS-ES」表記のソフトも再生可能）
- BSデジタル放送や地上デジタル放送などのデジタル放送で使用される MPEG-2 AACにも対応
- 外来ノイズなどの影響を受けにくいCD音質と同等のデジタル無線伝送（非圧縮伝送）を利用した、ワイヤレスヘッドホン
- 独自に開発した「パーソナル サラウンド」とφ50 mm大口径ドライバーユニットにより、臨場感あふれ、迫力あるサラウンド音場をヘッドホンで実現
- 最大で30 mの到達距離。（ご使用の環境により異なります。）
- ヘッドホンをトランスミッターにのせるだけの簡単充電方式。3時間の急速充電
- 置く場所を選ばない2通りのヘッドホン収納スタイル（どちらも充電可）
- 光デジタル入力端子を2系統、光デジタル出力端子（スルー）を1系統装備
- 音声入力のない状態が約5分続くと自動的にトランスミッターの電波の送信が停止し、消費電力をセーブ
- ヘッドバンドの調節不要なフリーアジャスト機構を採用
- ヘッドホンを頭にかけるだけで自動的に電源が入り、はずすと自動的に電源が切れる、オートパワーオン／オフ機能
- ヘッドホンの左右の音量を連動して調節できるVOL（ボリューム）つまみ
- ヘッドホンの電源は、付属の専用充電式ニッケル水素電池、または別売の単3形アルカリ乾電池のどちらでも使用可能
- 受信範囲外での耳障りなノイズをカットするミューティング機能
- やわらかく通気性にとんだベルベット調イヤーパッドの採用により快適な装着感を実現

※本機のトランスミッターは、DTSデコーダーおよびドルビーデジタルデコーダー、ドルビープロロジックⅡデコーダー、MPEG-2 AACデコーダーを搭載しています。

08/937,950	5 752 225	5,235,671	98/03036	08/211,547	5,197,087	5,548,574
5848391	5,394,473	07/640,550	5,227,788	5,703,999	5,490,170	08/506,729
5,291,557	5,583,962	5,579,430	5,285,498	08/557,046	5,264,846	08/576,495
5,451,954	5,274,740	08/678,666	5,481,614	08/894,844	5,268,685	5,717,821
5 400 433	5,633,981	98/03037	5,592,584	5,299,238	5,375,189	08/392,756
5,222,189	5 297 236	97/02875	5,781,888	5,299,239	5,581,654	
5,357,594	4,914,701	97/02874	08/039,478	5,299,240	05-183,988	

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください
（☞4ページ）

まず
確認と準備

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

充電式電池は本機（本体と付属のACアダプター）を使って充電する

本機以外で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
- 充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

充電式電池は、はんだ付け、分解、改造したり、火の中へ投入、加熱はしない

電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

⚠ 警告

分解、改造をしない

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近付けたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

乗り物を運転中は、ヘッドホンを使用しない

周囲の音が聞こえにくく、事故の原因になることがあります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くでワイヤレス機能を使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

充電式電池の⊕と⊖をショートさせない

電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
- ネックレスなどの金属物といっしょに携帯、保管する場合は、必ずケースなどに入れてください。
- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。はがれたものは使わないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所でワイヤレス機能を使用しない

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

心臓ペースメーカーを装着している方はワイヤレス機能を使用しない

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠警告

乾電池は誤った使いかたをしない

- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

⚠注意

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60 ℃以上）になります。本機やAC アダプター、電源コードなどを絶対に放置しないでください。機器表面や内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

ヘッドホンなど肌に直接触れる部分に異常を感じたら使用を中止する

そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

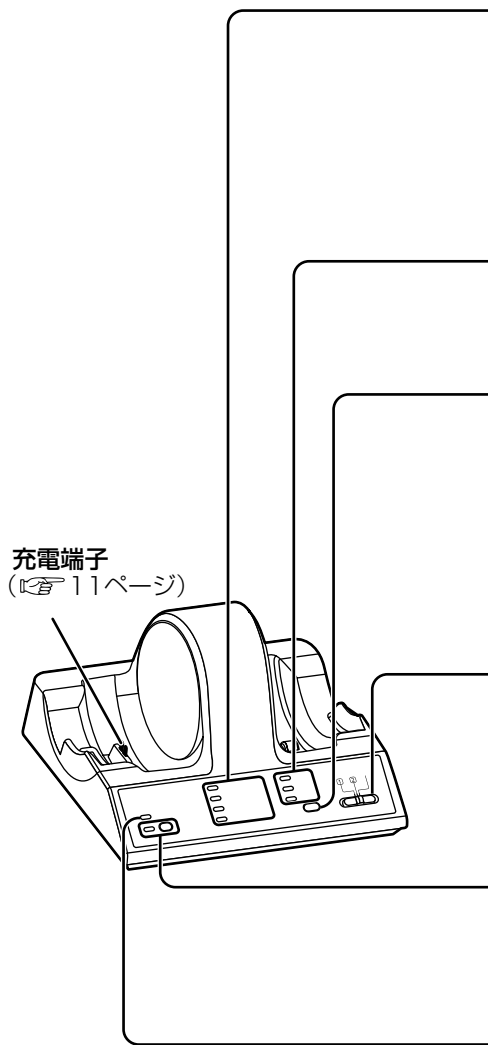
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

長期間使わないときは、本機から電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

各部のなまえとはたらき

トランスミッター前面

充電端子
（☞11ページ）

DECODE MODE ランプ（デコードモード）
（☞16～17ページ）
（DOLBY DIGITAL、DOLBY PRO LOGIC Ⅱ、DTS、MPEG-2 AAC）
入力された音声信号の記録方式をトランスミッターが自動判別して点灯します。

SURROUND ランプ（サラウンド）
（☞18ページ）
（MUSIC、CINEMA、VOICE）

SURROUND（切換）ボタン
（☞18ページ）
サラウンドモード（MUSIC、CINEMA、VOICE、OFF）を切り換えます。

INPUT SELECT（切換）つまみ（インプットセレクト）
（☞16ページ）
入力（DIGITAL 1、DIGITAL 2、ANALOG）を切り換えます。

ID/TUNING ボタン、ランプ（アイディーチューニング）
（☞18、19ページ）
電波の状態が悪くなったときや、ヘッドホンを増設したときに使用します。

OPR/CHARGE（動作/充電）ランプ（オペレーションチャージ）
（☞11ページ）
- 動作時は緑色に点灯
- ヘッドホン充電時は赤色に点灯
- 充電完了時と約5分間音声信号が入力されない場合は消灯

各部のなまえとはたらき

トランスミッター後面

ATT（切換）つまみ
（☞15ページ）
アナログ入力で音声が小さい場合は「0dB」に切り換えます。
通常は「−8dB」にして使います。

LINE IN（ライン入力）端子
（☞14ページ）
ビデオデッキやテレビなど、別売のAV 機器の音声出力端子に接続します。

DIGITAL IN 1、2（光デジタル入力）端子
（☞13ページ）
テレビやDVD プレーヤーなど、別売のデジタル機器の光デジタル出力端子に接続します。

DC IN 9 V 端子
（☞10ページ）
付属のAC アダプターを接続します。
（必ず付属のAC アダプターをお使いください。プラグの極性など異なる製品を使うと、故障の原因となります。）

DIGITAL OUT（光デジタル出力）端子
（☞13ページ）
INPUT SELECTつまみで選択した入力と同じデジタル信号が出力されます。
- ANALOGを選択しているときは、DIGITAL IN 2の入力と同じデジタル信号が出力されます。

INPUT SELECT つまみ	DIGITAL OUT
DIGITAL 1	DIGITAL IN 1の入力と同じ信号
DIGITAL 2	DIGITAL IN 2の入力と同じ信号
ANALOG	DIGITAL IN 2の入力と同じ信号

ヘッドホン

フリーアジャストバンド（☞12ページ）
頭にかけると自動的に電源が入り、OPRランプが点灯します。

OPR（動作）ランプ
フリーアジャストバンドを引き上げると、電池の残量がある場合は赤く点灯します。

電池ふた
電池ふたを開けるときはBATTノブを押します。
付属の専用充電式電池および別売の単3形アルカリ乾電池専用です。

BATT(電池)ノブ
（☞10ページ）

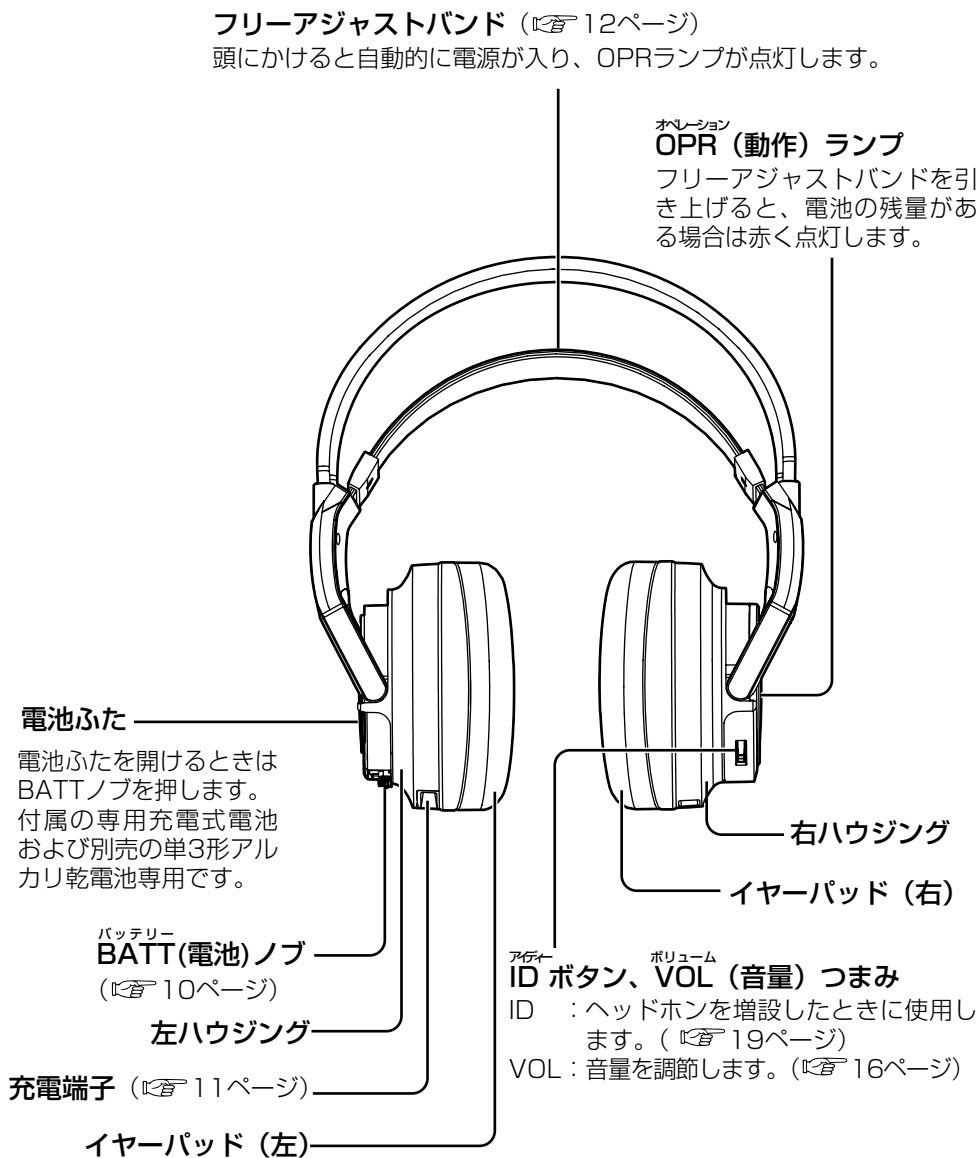
左ハウジング

充電端子（☞11ページ）

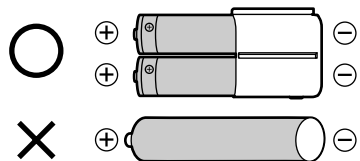
イヤーパッド（左）

右ハウジング

イヤーパッド（右）

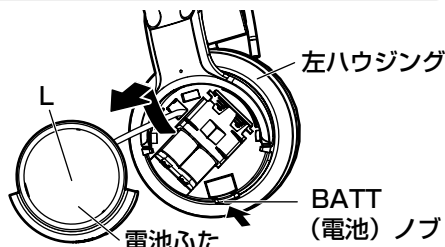
ID ボタン、VOL（音量）つまみ
ID ：ヘッドホンを増設したときに使用します。（☞19ページ）
VOL：音量を調節します。（☞16ページ）

ヘッドホンの電源準備

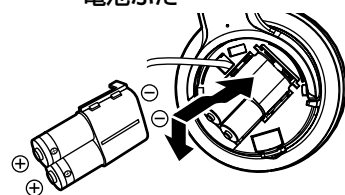
専用充電式電池（付属）を使う

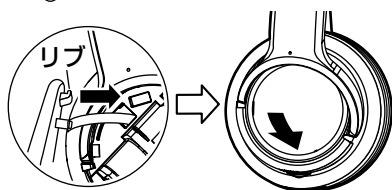
お買い上げ時の充電式電池は、まず充電してからお使いください。

専用単3形充電式ニッケル水素電池
必ず付属品または専用の別売品（RP-BP6000）をご使用ください。

一般の単3形充電式電池
充電することができません。

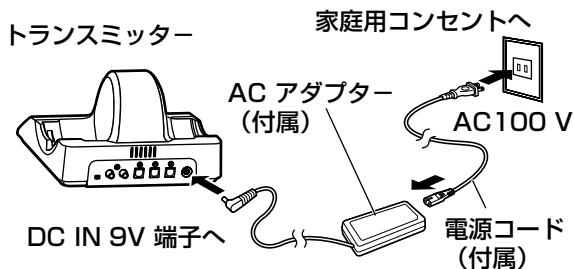
付属の専用充電式ニッケル水素電池を入れる

1 **左のハウジング部にある[BATT]（電池）ノブを押して電池ふたを開け、ふたを取りはずす**

2 **付属の専用充電式ニッケル水素電池を入れる**
- ⊕と⊖を正しく入れる
- ⊖側のバネを押しながら入れる

取り出すときは⊕側を押して取り出してください。

3 **電池ふたを取り付ける**
電池ふたのリブを左ハウジングの穴に差し込み、電池ふたを閉じます。
ロックするまで電池ふたを押してください。

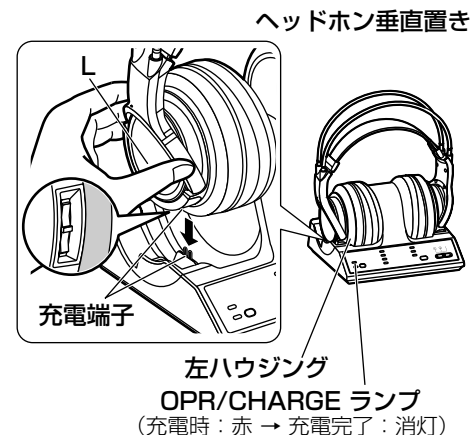
リブ

充電する

1 **AC アダプター（付属）をトランスミッターに接続する**
- トランスミッターのOPR/CHARGEランプが緑色に点灯します。

お願い
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 必ず付属のAC アダプターをご使用ください。

2 **ヘッドホンとトランスミッターの充電端子が接触するようにヘッドホンをトランスミッターの上にのせる**
ヘッドホンは垂直でも水平に置いても充電できます。
- トランスミッターのOPR/CHARGEランプが赤色に点灯します。
- 充電が完了すると、OPR/CHARGEランプが消灯します。
- ヘッドホンをトランスミッターの上にのせるときは、左右ハウジング部が平行になるように両手で持ち、トランスミッターへまっすぐにのせてください。

ヘッドホン垂直置き

ヘッドホン水平置き

充電
端子
左ハウジング

お願い
充電完了後、ヘッドホンをトランスミッターにのせ直すと再充電されます。使用しないで再充電をくり返すことはしないでください。
電池が過充電となり、発熱や液もれの原因となります。

お知らせ
- トランスミッターにヘッドホンがのっていると、電波の送信が自動的に停止します。
- ヘッドホンは充電が完了していなくても使用できます。
- 充電中は、充電式電池が熱くなりますが異常ではありません。
- 長期間使用しないときは、節電のためにAC アダプターを、コンセントから抜いておくことをおすすめします。接続したままの状態では、機器側の電源が切れていても約1.8 Wの電力を消費しています。
- 充電は0 ℃～40 ℃の環境で行ってください。フル充電されない場合があります。

■ 充電時間の目安と持続時間

充電時間	持続時間※1
約3時間※2	約8時間※3

※1 1 kHz、1 mW＋1 mW出力時
※2 充電が空の状態からフル充電するのにかかる時間
※3 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

■ OPR/CHARGEランプが赤く点灯しない場合は

ヘッドホンの左右を確認し、トランスミッターとヘッドホンの充電端子が正しく接触するよう、ヘッドホンをトランスミッターの上にのせ直してみてください。
- トランスミッターとヘッドホンの充電端子にゴミが付着しているときは綿棒などで軽くふき取ってください。

ヘッドホンの電源準備

■ ヘッドホンをお使いになった後、再充電するには

ヘッドホンをトランスミッターに再度のせてください。OPR/CHARGEランプが赤く点灯した後、充電が始まります。

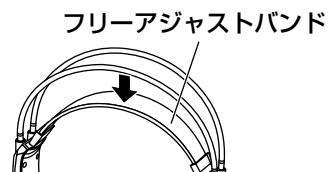
■ 電池の残量を確認する

フリーアジャストバンドを引き、右ハウジング部のOPRランプが暗い、消灯している、または使用中に音がひずむ、とぎれとぎれになる、「ボッボッ」というノイズ音が聞こえたり雑音が多くなったときは、充電するか、新しいアルカリ乾電池でお使いください。

専用充電式電池の寿命について

付属の専用充電式ニッケル水素電池は約300回充電できます。充電しても持続時間が極端に短くなった場合は、電池の寿命と思われます。必ず専用の充電式電池（別売）RP-BP6000と取り換えてください。

■ ヘッドホンを頭からはずすと自動的に電源が切れます（オートパワーオン/オフ機能）

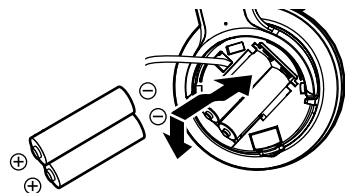
お使いにならないときは、フリーアジャストバンドが引き上げられた状態にならないようにしてください。オートパワーオン機能が誤って働いてしまい、電池が消耗します。

アルカリ乾電池（別売）を使う

本機は別売の単3形アルカリ乾電池でもお使いになれます。

「付属の専用充電式ニッケル水素電池を入れる」（☞10ページ）と同じ方法でアルカリ乾電池2個をヘッドホンに入れます。

- ⊕と⊖を正しく入れる
- ⊖側のバネを押しながら入れる

取り出すときは⊕側を押して取り出してください。

トランスミッターにのせても充電されません。

■ 乾電池の持続時間

乾電池の種類	持続時間※1
パナソニック アルカリ乾電池	約6時間※2

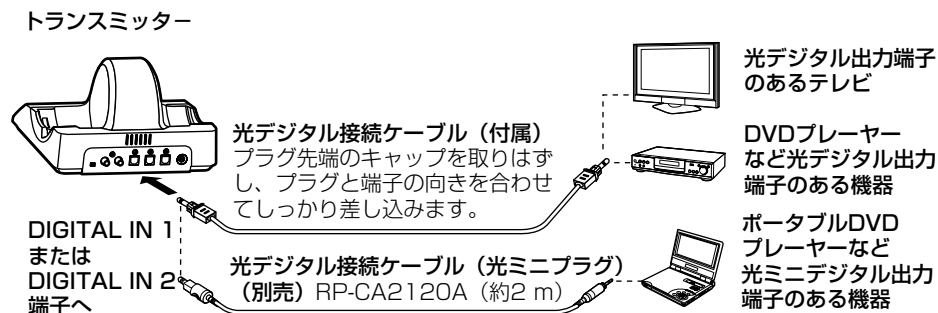
※1 1 kHz、1 mW＋1 mW出力時

※2 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

接続する

- 接続する前にデジタル機器またはアナログ機器の電源を切ってください。
- **デジタル機器またはアナログ機器をトランスミッターに接続した後、AC アダプター（付属）をトランスミッターに接続してください。（☞10ページ「充電する」手順1）**
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

デジタル機器をつなぐ

付属の光デジタル接続ケーブルを使って、テレビやDVDプレーヤーなど※1の光デジタル出力端子※2と、トランスミッターのDIGITAL IN 1または2の端子をつないでください。

光デジタル接続ケーブル（光ミニプラグ）（別売）

ポータブルDVDプレーヤーやポータブルCDプレーヤーなどの光ミニデジタル出力端子からDIGITAL IN 1または2の端子へつなぐときは、光デジタル接続ケーブルRP-CA2120A（約2 m）（光角型プラグ⇔光ミニプラグ）などをお使いください。

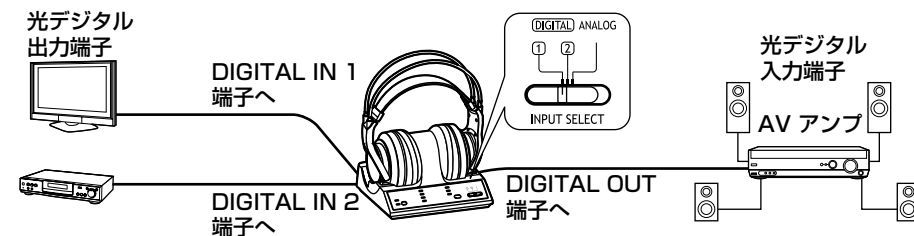
（お知らせ）

※1 パソコンの光デジタル出力端子への接続は動作保証いたしません。

※2 PCM出力しかサポートしていない機器の場合、サラウンド効果はすべてDOLBY PRO LOGIC Ⅱ処理になります。

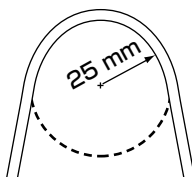
■ AVアンプなどに接続する

DIGITAL IN 1および2の端子に光デジタル出力機器を接続し、DIGITAL OUT端子にAVアンプ（別売）などを接続しておくと、光デジタル接続ケーブルをつなぎ替えすることなく入力の切り換えができます。

- INPUT SELECTつまみで本機の入力切り換えとDIGITAL OUT端子に接続した機器（AVアンプなど）への出力切り換えが同時にできます。ANALOGを選択するとDIGITAL IN 2の入力がAVアンプなどへ出力されます。（☞8ページ）
- トランスミッターにAC アダプターが接続されていないと、入力の切り換えができません。

接続する

■ 光デジタル接続ケーブルについてのお願い

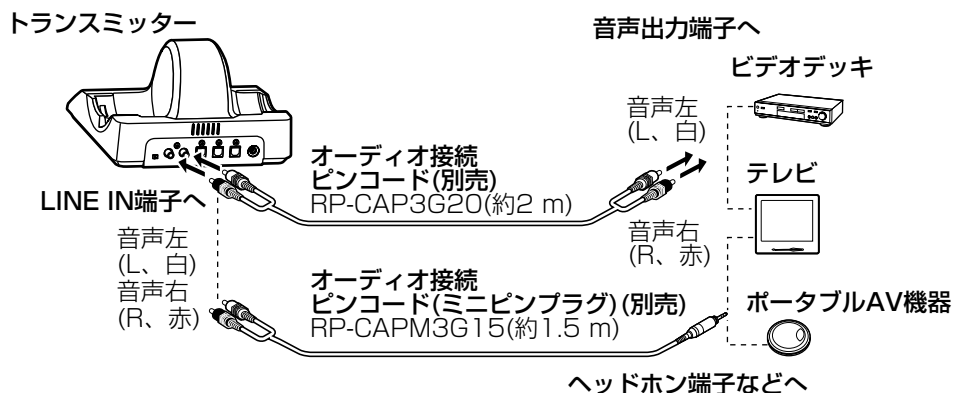
- 光デジタル接続ケーブルには落下物などによる衝撃を与えないでください。
- 光デジタル接続ケーブルの抜き差しは、プラグを持って、丁寧に行ってください。
- 光デジタル接続ケーブルの先端が汚れると性能が低下しますので、汚さないようにしてください。
- 保管の際は、プラグ先端にキャップを付けて、光デジタル接続ケーブルを折り曲げすぎないようにしてください。

光デジタル接続ケーブルの最小曲げ半径は25 mmです。

■ DTS音声を聞くには

DTSなどの音声切り換えは、つないだ機器側で行ってください。

- DTS音声で収録されたDVDを再生するには、DTSに対応したDVDプレーヤーが必要です。（詳しくはお使いのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。）
- DVDプレーヤーのDTSデジタル出力設定が「OFF」や「切」になっている場合は、DVDメニューでDTS出力を選択しても音が出ないことがあります。
- DVDプレーヤーと本機をアナログで接続している場合、音が出ないことがあります。この場合は、デジタルで接続してください。
- DTSフォーマットのCDで、早送り時や巻き戻し時などにノイズが発生することがありますが、故障ではありません。

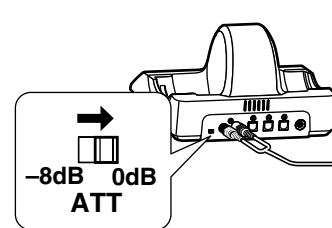
アナログ機器をつなぐ

別売のオーディオ接続コードを使って、ビデオデッキやテレビなどの音声出力端子と、トランスミッターのLINE IN（L/R）端子を接続してください。

オーディオ接続ピンコード（ミニピンプラグ）（別売）

テレビやポータブルAV機器のヘッドホン端子などのステレオミニジャックからLINE IN端子へつなぐときは、オーディオ接続ピンコードRP-CAPM3G15（約1.5 m）（ステレオミニプラグ⇔ピンプラグ×2）などをお使いください。

- **テレビやポータブルAV機器のヘッドホン端子などの出力が低く設定されていると、ノイズが発生することがありますので、音量をひずまない範囲で大きくしてお使いください。**

■ ATT（切換）つまみについて

アナログ入力で音声が小さいときは、トランスミッター後面にあるATT（切換）つまみを「0 dB」に切り換えてお使いください。

位置	視聴ソース
0 dB	テレビやポータブル機器など、出力レベルの低いもの
−8 dB	その他の機器（出荷時の設定）

お願い

- ATTつまみは、必ず音量を下げてから切り換えてください。
- アナログ入力で音声がひずむ（同時にノイズが発生する場合もあります）ときは、ATTつまみを「−8 dB」に切り換えてください。

設置する

本機は無線伝送方式を使用しています。電波が届く範囲でお使いください。

■ 電波の届く範囲について

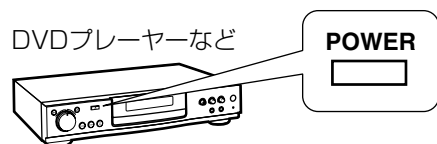
トランスミッターから電波が届く範囲は、最大30 mです。

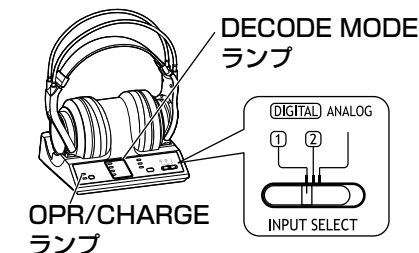
トランスミッターからヘッドホンをはずすと、自動的に最適な周波数が選択されますが、使用中に電波の届く範囲から離れたり、電波の状況が悪くなると音がとぎれる場合があります。トランスミッターに近づくか、最適な周波数を選択してお使いください。
（☞18ページ「最適な周波数の選択」）

- 本機は2.4 GHz帯の周波数を使用しているため、障害物（鉄筋コンクリート製の壁や金属製のドアなど）で電波がさえぎられた場合は音がとぎれることがあります。これらの現象は電波の特性によるもので、故障ではありません。
- トランスミッターの位置やお使いになる場所の状況により聞こえかたが異なります。なるべく聞こえやすい位置でお使いになることをおすすめします。
- 他の2.4 GHz帯の周波数を使用する無線機器や電子レンジなどを併用すると音声がとぎれることがあります。

つないだ機器の音声を聞く

操作に入る前に、必ず「接続する」(☞13〜15ページ)をご覧のうえ、正しい接続を行ってください。

1 トランスミッターをつないだ機器の電源を入れる

2 [INPUT SELECT] を切り換えて、聞く音声を選ぶ

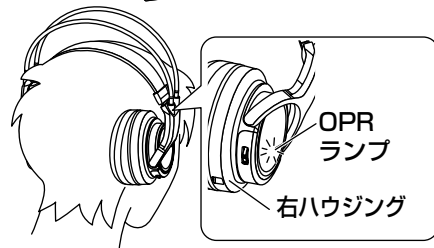
DIGITAL 1: DIGITAL IN 1 端子につないだ機器の音声
DIGITAL 2: DIGITAL IN 2 端子につないだ機器の音声
ANALOG: LINE IN端子につないだ機器の音声

お願い

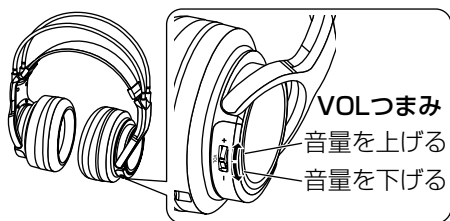
- 二重音声(MAIN/SUB)の音源を視聴するときは、LINE IN端子に接続して、プレーヤーやテレビの方で聞きたい音声を選んでください。

3 トランスミッターからヘッドホンをはずす

4 ヘッドホンを頭の上からかける

右ハウジング部(R)を右耳に、左ハウジング部(L)を左耳に合わせ、オートパワーオン/オフ機能(☞12ページ)が正確に働くように、頭の上から垂直にかけてください。

- 右ハウジング部のOPRランプが赤く点灯し、自動的に電源が入ります。

5 手順2で選んだ音声の機器を再生する

- トランスミッターのOPR/CHARGEランプが緑色に点灯し、電波が送信されます。送信に最適な周波数が自動的に選択されます。
- つないだAV機器から入力される音声信号に応じて、DECODE MODE(デコードモード)ランプが約5秒後に点灯します。

6 [VOL] で音量を調節する

- 前回使用した音量になっています。
- つまみを動かし保持している間、音量が変わります。

サラウンド効果を選んで聞くには、18ページをご覧ください。

お願い

- 映画の場合、静かなシーンで音量を上げすぎると、急激な爆発シーンなどで耳を痛めることがあります。音量を上げすぎないでください。
- ヘッドホンは、電波が届く範囲でお使いください。(☞15ページ)

お知らせ

- ヘッドホンをはずす前に、トランスミッターからAC アダプターをはずすと、雑音が入ることがあります。
- 音楽CDのように映像を伴わないソースの場合、音の定位がわかりにくい場合があります。
- 本機は人間の平均的なHRTF※(頭部伝達関数)をシミュレートしていますが、HRTFには個人差があるため効果の感じかたは人により異なる場合があります。
  ※ Head Related Transfer Functionの略です。

■ 各モード間の移行時間について

トランスミッターの各スイッチを操作してから新しいモードに移行するときに、移行時間が異なる場合があります。これはモード移行によるシステム制御の違いによるものです。

■ DECODE MODE(デコードモード)ランプについて

入力された音声信号の記録方式をトランスミッターが自動判別して、下記のモードランプが点灯します。ドルビーデジタル/DTSなどの音声切り換えは、つないだ機器側(DVDプレーヤーなど)で行ってください。

- **DOLBY DIGITAL**:ドルビーデジタルフォーマットで記録された信号
- **DOLBY PRO LOGIC Ⅱ**:アナログ入力信号、デジタル入力信号のPCM 2チャンネル信号またはドルビーデジタル2チャンネル信号がドルビープロロジックⅡ処理された場合(サラウンドモード(☞18ページ)の「OFF」を選んでいる場合はドルビープロロジックⅡ処理されません)
- **DTS**:DTSフォーマットで記録された信号
- **MPEG-2 AAC**:MPEG-2規格の一部として規格化された音声圧縮符号化方式で、デジタルテレビ音声方式として採用されています

お知らせ

- DIGITAL IN 1または2の端子につないだ機器が、早送りや巻き戻しなど「再生」以外の状態ではDECODE MODE(デコードモード)ランプが正確に点灯しない場合があります。「再生」状態にするとDECODE MODE(デコードモード)ランプが正確に点灯します。

■ ヘッドホンから音声が聞こえないときは(ミューティング機能)

電波の届く範囲から離れたり、電波の状況が悪くなると、自動的にミューティング機能が働き、ヘッドホンから音声が聞こえなくなります。トランスミッターに近づけば、自動的にミューティング状態は解除されます。それでも音がとぎれる場合は、最適な周波数を選択してお使いください。(☞18ページ「最適な周波数の選択」)

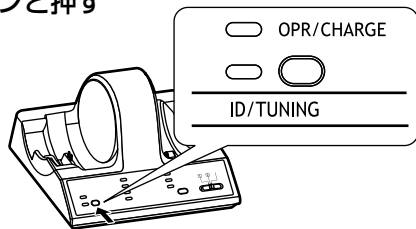
■ 約5分間音声信号が入力されないと

トランスミッターのOPR/CHARGEランプが消灯し、電波の送信が自動的に停止します。再び音声信号が入力されると自動的に電波が送信されます。
また、アナログ入力で非常に小さい音が約5分間続いたときも、電波の送信が停止することがあります。この場合はつないだ機器の音量を上げ、ヘッドホンの音量を下げてお使いください。LINE IN端子につないだ機器からノイズ信号が出力されていると、電波の送信が停止しない場合があります。

つないだ機器の音声を聞く

■ ヘッドホン使用中、雑音が入ったり音がとぎれるときは（最適な周波数の選択）
電波の届く範囲から離れたり、2.4 GHz帯の周波数を使用する無線機器や電子レンジなどの影響を受けて、ヘッドホンの受信状態が悪くなると雑音が入ったり音がとぎれる場合があります。トランスミッターに近づいても直らない場合は、伝送に最適な周波数を次の手順で選択してください。

トランスミッターの[ID/TUNING]を1回ポンと押す

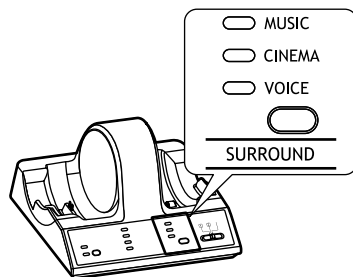
• ID/TUNINGランプが緑色に点灯し、トランスミッターが周波数を変えて、送信が始まります。
• トランスミッターから送信されている周波数をヘッドホンが自動的に選択し、雑音や音がとぎれる状態が解消されます。

雑音や音がとぎれる状態が解消されないときは
解消されるまで上記の手順を行って最適な周波数を選択してください。
• デジタルコードレス電話機などから影響を受けた場合は、解消されないことがあります。その場合、トランスミッターとヘッドホンをデジタルコードレス電話機などからできるだけ離してご使用いただくと解消されることがあります。

サラウンド効果を選んで聞く

[SURROUND] を押して、
好みのサラウンドモードを選ぶ

押すたびに

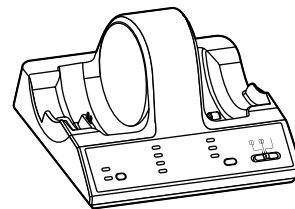
→ OFF → MUSIC → CINEMA → VOICE ┐

• 選んだサラウンドモードのSURROUNDランプが点灯します。
• OFFを選ぶとSURROUNDランプは点灯しません。
• 電源（AC アダプター）を入れ直すと、CINEMAが選択されます。

サラウンドモード	サラウンド効果と適した入力ソース（音源）
OFF	通常のヘッドホン再生。
MUSIC	音響環境のよいリスニングルームの音場を再現するモード。音楽ソースに適しています。
CINEMA	リアリティのある臨場感あふれるサラウンドモード、まさにシーンの中にいるような感覚に近づけます。映画などのソースに適しています。
VOICE	騒音の多いスポーツシーンなどで、競技場の興奮を再現しながら、アナウンサーや解説者などの音声を聞きやすくするモード。スポーツ観戦シーンのソースに適しています。

(お知らせ)
• 再生する入力信号によっては、選んだサラウンドモードにより、再生音量に違いが生じる場合があります。
• モノラル音源を再生している場合は、サラウンド効果は得られません。

ヘッドホンを増設する

本機では、別売の 増設用 デジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホン（RP-WF6000H）を増設することにより、複数の人が同時にワイヤレスで「パーソナル サラウンド」を楽しむことができます。
増設したヘッドホンは、本機のトランスミッターで充電を行います。
• 電波が届く範囲内（☞15ページ）であれば、何台でも使用可能です。
• RP-WF6000H（別売）以外の 増設用 ヘッドホンは使用できません。

トランスミッター

お願い
• トランスミッターにヘッドホンがのっていると、電波の送信が自動的に停止します。増設用のコードレス ヘッドホンを使用するときは、ヘッドホンをトランスミッターからはずしてください。

■ **ヘッドホンを増設するときは**
トランスミッターには固有のID（認識番号）が設定されています。別売のRP-WF6000Hを増設する場合は、トランスミッターに設定されているID（認識番号）をヘッドホンに登録しなければ使用することができませんので、必ず登録作業を行ってください。
• 増設するヘッドホンに付属の専用充電式電池は登録作業の前に充電するか、別売の単3形アルカリ乾電池を使用してください。

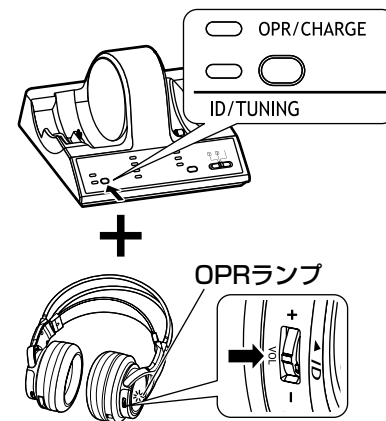
1 トランスミッターからヘッドホンをはずしておく

トランスミッターが送信準備状態になります。

2 増設用 ヘッドホンを頭の上からかける

ヘッドホンの電源が入ります。

3 トランスミッターの[ID/TUNING]と 増設用 ヘッドホンの[ID]を同時に押し続け、トランスミッターのID/TUNINGランプ（緑色）が5回以上点滅したらはなす

ヘッドホンのIDつまみは内側へ押します。
• トランスミッターのID/TUNINGランプ（緑色）とヘッドホンのOPRランプ（赤色）が5回以上（押している間）点滅し、ヘッドホンにIDが登録されます。

使用上のお願い

ワイヤレス機器について

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項をお読みの上ご使用ください。

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：**松下電器産業株式会社 ナショナル パナソニック お客様ご相談センター**
（☞26ページをご参照ください。）

■ 周波数表示の見かた（本機底面の証明ラベルに記載）

変調方式がDS-SS方式
2.4 GHz帯を使用
電波与干渉距離40 m以下
2.4 DS 4
2.400 GHz～2.4835 GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解／改造する
- 本機底面に貼ってある定格銘板および証明ラベルをはがす

■ 使用制限

日本国内でのみ使用できます。

■ 使用可能距離

約30 m 以内で使用してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。特に鉄筋コンクリート製の壁や金属製のドアなどには電波がさえぎられる場合があります。

■ 他機器からの影響

- 本機との距離が近いと電波干渉により、音がとぎれたりするなどの不具合が生じる可能性があります。以下の機器よりできるだけ離して使用することをおすすめします。
  ワイヤレスLAN／電子レンジ／OA機器／デジタルコードレス電話機／その他電気製品など

通常、本機はこれらの家庭用機器との電波干渉を自動的に避けるよう設計されていますが電波の干渉がある場合、音がとぎれることがあります。この場合、最適な周波数を選択してお使いください。（☞18ページ「最適な周波数を選択」）

ご使用について

■ 本機は日本国内でのみ使用できます

AC アダプター用電源コードは日本国内専用です。海外では使用できません。

■ 設置について

- 次のような場所には置かないでください。
  －直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所
  －ほこりの多い所
  －ぐらついた台の上や傾いた所
  －振動の多い所
  －風呂場など、湿気の多い所

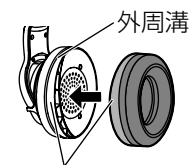
■ 取り扱いについて

- トランスミッター、ヘッドホンを落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 水などの液体に濡らさないでください。故障の原因となります。

■ ヘッドホンについて

騒音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも、呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

■ イヤーパッド（左、右）を交換するには

古くなったイヤーパッドをはずし、交換用イヤーパッド（別売）をハウジングの側面が広い方と狭い方に合わせて外周溝にはめ込んでください。
交換用イヤーパッド： RFX5823（1 個／左、右パッド共用）
（サービスルート扱い）

充電式電池使用後は、
貴重な資源を守るためにリサイクルへ！
使用済み充電式電池の届け先：
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。
- ホームページ：http://www.jbrc.net/hp

充電式
ニッケル水素電池使用

-このマークがある場合は-
ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

お手入れ

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。
販売店へお持ちになるときは、必ずヘッドホンとトランスミッターを一緒にお持ちください。

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	➡ トランスミッターにAC アダプターが接続されていることを確認する。(☞10ページ) ➡ トランスミッターとAV機器の接続を確認する。(☞13～15ページ) ➡ トランスミッターにつないだAV機器の電源を入れ、演奏（再生）を始める。トランスミッターのOPR/CHARGEランプが緑色に点灯していることを確認する。(☞16ページ) ➡ トランスミッターのINPUT SELECT 切換つまみの設定が、接続した機器の端子を正しく選んでいるか確認する。(☞16ページ) ➡ トランスミッターとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を上げる。(☞14ページ) ➡ ヘッドホンを頭の上からかけ直す。(☞16ページ) ➡ ヘッドホンの音量を上げる。(☞16ページ) ➡ ミューティング機能が働いている。(☞17ページ) • 電波が届く範囲に移動する。 ➡ ヘッドホンのOPRランプが消灯している。(☞12ページ) • 専用充電式電池が消耗しているので充電をする。またはアルカリ乾電池を新しいものと交換する。それでもOPRランプが消灯したままの場合は、販売店にお持ちください。 ➡ デジタル入力を選択している場合は接続機器の設定が「OFF]や「切」になってないか確認する。 ➡ DTSに対応していないDVDプレーヤーでDTS音声トラックを再生している。(☞14ページ) • DTSに対応したDVDプレーヤーを使用する。またはDolby DigitalやPCM音声トラックを選択する。 ➡ DVDプレーヤー（ゲーム機を含む）のDTSデジタル出力設定が「OFF」や「切」の状態でDTS音声で収録されたDVDを再生している。(☞14ページ) • お使いのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧になり、DTSデジタル出力設定を「ON」や「入」に切り換えてください。 ➡ DVDプレーヤー（ゲーム機を含む）と本機をアナログで接続している状態でDTS音声で収録されたDVDを再生している。(☞14ページ) • デジタルで接続してください。(DVDプレーヤーからアナログ音声が出力されない場合があります。) ➡ 増設したヘッドホンにトランスミッターのIDが設定されていない。(☞19ページ) ➡ 増設したヘッドホンを充電している。 • 増設したヘッドホンをトランスミッターからはずす。(☞19ページ)

症状	原因と対応のしかた
音が小さい	➡ アナログ入力を選択している場合はトランスミッターのATTつまみを「0 dB」に切り換える。(☞15ページ) ➡ トランスミッターとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を上げる。(☞14ページ) ➡ ヘッドホンの音量を上げる。(☞16ページ)
音がひずむ	➡ アナログ入力を選択している場合はトランスミッターのATTつまみを「−8 dB」に切り換える。(☞15ページ) ➡ トランスミッターとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を下げる。(☞14ページ) ➡ DTSソース視聴時は、トランスミッターのSURROUND切換ボタンで「CINEMA」、「MUSIC」または「VOICE」に切り換える。
とぎれとぎれになる (同時にノイズが出る場合もある)	➡ トランスミッターの位置を変える。電波が届く範囲で使用する。(☞15ページ) ➡ ヘッドホンのOPRランプが暗い、または使用中に音がひずむ、とぎれとぎれになる、「ボッボッ」というノイズ音が聞こえたり雑音が多くなった。(☞12ページ) • 専用充電式電池が消耗しているので充電をする。またはアルカリ乾電池を新しいものと交換する。 ➡ トランスミッターとヘッドホンの周辺に2.4 GHz帯の周波数を使用する無線機器や電子レンジなどがないか確認する。(☞20ページ) ➡ 最適な周波数を選択する。(☞18ページ「最適な周波数の選択」)
雑音が多い	➡ トランスミッターとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を上げる。(☞14ページ) ➡ ヘッドホンのOPRランプが暗い、または使用中に音がひずむ、とぎれとぎれになる、「ボッボッ」というノイズ音が聞こえたり雑音が多くなった。(☞12ページ) • 専用充電式電池が消耗しているので充電をする。またはアルカリ乾電池を新しいものと交換する。 ➡ トランスミッターとヘッドホンの周辺に2.4 GHz帯の周波数を使用する無線機器や電子レンジなどがないか確認する。(☞20ページ) ➡ 最適な周波数を選択する。(☞18ページ「最適な周波数の選択」)
アナログ入力で使用中、音声が聞こえなくなった	➡ アナログ入力で非常に小さい音が約5分間続いたときは、自動停止機能が働き音声が聞こえなくなることがあります。(☞17ページ) この場合は、下記の操作を行ってください。 ① トランスミッターのATTつまみを「0 dB」に切り換える。(☞15ページ) それでも音声が聞こえなくなるときは ② 本機にアナログ接続している機器の音量を上げ、ヘッドホンの音量を下げる。

故障かな!?

症状	原因と対応のしかた
サラウンド効果が得られない	➡ トランスミッターのSURROUND切換ボタンで「CINEMA」、「MUSIC」または「VOICE」に切り換える。（☞18ページ） ➡ 再生中の音源がマルチチャンネル信号になっていない。モノラル音源の場合、サラウンド効果は得られません。（☞18ページ）
DOLBY DIGITALランプが点灯しない	➡ DVDプレーヤー（ゲーム機を含む）の音声デジタル出力の設定が「PCM」になっている。 • お使いのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧になり、ドルビーデジタルデコーダーを内蔵した機器を使用するときの設定（「ドルビーデジタル／PCM」、「Dolby Digital」など）に切り換えてください。 ➡ ドルビーデジタルフォーマットで記録されていない信号を再生している。 ➡ 再生中のチャプターの音声がドルビーデジタルの信号になっていない。
DOLBY PRO LOGIC Ⅱランプが点灯しない	➡ トランスミッターのSURROUND切換ボタンの設定が「OFF」になっている。（☞17ページ） ➡ アナログ入力信号、デジタル入力のPCM信号、ドルビーデジタル2チャンネル信号またはMPEG-2 AACの2チャンネル信号が入力されていない。
DOLBY PRO LOGIC Ⅱランプが点灯してしまう	➡ トランスミッターのSURROUND切換ボタンの設定が「OFF」以外になっている。（☞17ページ） ➡ アナログ入力信号、デジタル入力のPCM信号、ドルビーデジタル2チャンネル信号またはMPEG-2 AACの2チャンネル信号が入力されている。
DTSランプが点灯しない	➡ DVDプレーヤー（ゲーム機を含む）のDTSデジタル出力設定が「OFF」や「切」になっている。（☞14ページ） • お使いのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧になり、DTSデジタル出力設定を「ON」や「入」に切り換えてください。 ➡ DTSフォーマットで記録されていない信号を再生している。 ➡ 再生中のチャプターの音声がDTSになっていない。 ➡ DVDプレーヤーがDTSに対応していない。（☞14ページ） • DTSに対応したDVDプレーヤーをお使いください。
MPEG-2 AACランプが点灯しない	➡ テレビの音声デジタル出力の設定が「PCM」になっている。 • テレビの取扱説明書をご覧になり、MPEG-2 AAC信号が出力されるように設定を変更してください。
デジタル入力時二重音声（MAIN、SUB）の選択ができない	➡ LINE IN端子にアナログ音声出力をつないで、つないだ機器の方で聞きたい音を選んでください。（☞16ページ）
充電できない	➡ トランスミッターのOPR/CHARGE（充電）ランプが赤く点灯しない。（☞11ページ） • ヘッドホンがトランスミッターの正しい位置にのせられているか確認する。 ➡ 乾電池が入っている。（☞12ページ） • 必ず付属の専用充電式ニッケル水素電池を入れる。 ➡ 付属以外の充電式ニッケル水素電池が入っている。（☞10ページ） • 必ず付属または別売品の専用充電式ニッケル水素電池を入れる。 ➡ 充電端子にゴミが付着している（☞11ページ） • 綿棒などでゴミを軽くふき取る。
電波の出力が停止しない	➡ つないだ機器からノイズ信号が入っている。 • つないだ機器の電源を切る。

主な仕様

■トランスミッター　RP-WF6000T

デコーダー機能
ドルビーデジタル
ドルビープロロジックⅡ
DTS
MPEG-2 AAC

サラウンド機能
OFF
MUSIC
CINEMA
VOICE

変調方式 DSSS
搬送波周波数
2.412 GHz ～ 2.472 GHz
到達距離 最長約30 m
伝送帯域 10 Hz～24,000 Hz
ひずみ率 0.1 %以下（1 kHz）
音声入力 光デジタル入力（角型）×2系統
アナログ入力（ピンジャック、左／右）×1系統
音声出力 光デジタル出力（スルー）（角型）×1系統
電源 DC 9 V（付属のAC アダプターを使用）
最大外形寸法（幅×高さ×奥行）
178 mm×105.5 mm×161.5 mm
質量 約355 g

■ヘッドホン　RP-WF6000H

再生周波数帯域
10 Hz～24,000 Hz
電源 付属の専用充電式ニッケル水素電池（1個）または別売の単3形アルカリ乾電池（2本）
質量 約380 g
（付属の専用充電式ニッケル水素電池含む）

■トランスミッターとヘッドホンの充電状態

最大外形寸法（幅×高さ×奥行）
202 mm×244 mm×161.5 mm
（ヘッドホン垂直置き）
202 mm×115 mm×270 mm
（ヘッドホン水平置き）

■AC アダプター　RFX5726

定格入力 AC 100～240 V、50/60 Hz
定格出力 DC 9 V、2 A
入力容量 43～58 VA

入力待機時のAC アダプター消費電力
（トランスミッター接続状態）
約1.8 W

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

推奨アクセサリー

光デジタル接続ケーブル
RP-CA2020A（約2 m）
（光角型プラグ⇔光角型プラグ）
RP-CA2120A（約2 m）
（光角型プラグ⇔光ミニプラグ）

オーディオ接続ピンコード
RP-CAP3G20（約2 m）
（ピンプラグ×2⇔ピンプラグ×2）
RP-CAPM3G15（約1.5 m）
（ステレオミニプラグ⇔ピンプラグ×2）

交換用イヤーパッド
RFX5823
（1 個）（左、右パッド共用）
（サービスルート扱い）

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた、お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このデジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホンの補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

22～24ページの「故障かな!?」の表に従ってご確認のあと、直らないときは、まずACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホン
品番	RP-WF6000
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック
お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック
修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号）

0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

北 海 道 地 区

	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎ (0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎ (0138)48-6631

東 北 地 区

	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎ (017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎ (018)831-7833
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎ (019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎ (023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎ (024)991-9308

首 都 圏 地 区

	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎ (028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎ (027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎ (029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎ (055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎ (025)286-0171

中 部 地 区

	住所	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎ (076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎ (076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎ (0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎ (0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区有東2丁目3-22	☎ (054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎ (058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎ (059)255-1380

近 畿 地 区

	住所	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎ (077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎ (075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎ (078)272-6645

中 国 地 区

	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎ (086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎ (082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	☎ (083)973-2720

四 国 地 区

	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎ (088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎ (088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎ (089)905-7544

九 州 地 区

	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎ (0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎ (0997)53-5101

沖 縄 地 区

	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0506

さくいん

あ

か

さ

た

は

ま

アルファベット

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）	お買い上げ日	年　　月　　日	品 番	RP-WF6000
	販売店名	☎（　　）　－	お客様ご相談窓口 ☎（　　）　－	

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

RQT8810-S
M0906TK0